

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業						
担当部課	離島振興課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島12市町村		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	① 農林水産物の輸送に要する費用の低廉化に関する事業 ⑦カ 奄美群島において製造された加工品の移出並びに生産される農林水産物及び製造される加工品に係る原材料等の移入に要する費用の低廉化に関する事業					交付率	7／10, 5／10
事業内容	奄美群島における農林水産物等の輸送コストの負担軽減を図るため、本土と比べ割高となっている農林水産物等の輸送費の一部助成を行う						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	780,267	819,969	815,944		
		補正予算	▲ 85,936	▲ 151,648	▲ 180,848		
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	694,331	668,321	635,096	-	-
	執行額		589,327	528,975	519,526		
	執行率		84.9%	79.1%	81.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(農林水産物, t数) ②奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花卉, 千本) ③奄美地域における製造品出荷額(百万円)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		—	—	① 55,481t ② 56,156千本 ③ 21,531百万円	—	① 55,512t ② 56,156千本 ③ 21,937百万円
	実 績		① 44,154t ② 46,736千本 ③ 21,028百万円	① 39,863t ② 43,376千本 ③			
	達成度		—	—	① ② ③	—	—
	達成状況 の評価		【R元年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。				
			【R2年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが、コロナ禍の影響もあり出荷量が減少した。				
			【R3年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが、農産物については、天候不良による収穫の遅れ、林産物、水産物については、新型コロナウイルスの影響により出荷量が減少した。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和元年度からこれまでの農林水産物の輸送支援に加え、加工品の輸送と移出する農林水産物の原材料を移入する場合も当事業の補助対象とされた。 今後さらに補助対象者の生産振興計画に基づいた取組が着実に実施され、生産基盤の強化が図れるよう、市町村等との連携を強化する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島交流需要喚起対策特別事業						
担当部課	総合政策部交通政策課		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	奄美群島の交流人口拡大に向けて、運賃等の移動コストの軽減に係る試験的取組等を実施する。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	285,096	276,876	271,208		
		補正予算	0	140,000	140,000		
		前年度繰越	0	0	0		
		翌年度繰越	0	0	0		
		その他増減	0	0	0		
		計	285,096	416,876	411,208	－	－
	執行額		263,363	395,458	391,421		
	執行率		92.4%	94.9%	95.2%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		対象路線における航空輸送旅客利用者数 対象路線における航路輸送旅客利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		－	－	(航空)422千人 (航路)148千人 (中間目標値)	－	(航空)450千人 (航路)151千人 (最終目標値)
	実 績		(航空)338千人 (航路)109千人	(航空)171千人 (航路)54千人	(航空)273千人 (航路)62千人		
	達成度		－		(航空)65% (航路)42%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 新型コロナウイルスの影響や、航空路では事業者の経営統合に伴い対象路線で一定期間の運休が生じたこともあり、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で減少(航空:86%, 航路88%)となったが、通年で447千人の交流が図られた。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で大きく減少(航空:51%, 航路50%)したが、通年で225千人の交流が図られた。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度は減少(航空:80.8%, 航路:56.9%)したが、対前年度は増加(航空:159.6%, 航路:114.8%)した。 また、同影響により、中間目標達成度は航空:65%, 航路42%であったが、通年で335千人の交流が図られた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、運賃軽減や広報宣伝等に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美・沖縄連携交流促進事業						
担当部課	総合政策部交通政策課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島と沖縄という歴史的・文化的につながりの深い両地域における調和ある振興のために、移動コストを軽減し、両地域の住民等の交流を促進する。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	98,848	79,768	78,343		
		補正予算	▲ 20,623	▲ 40,427	▲ 29,280		
		前年度繰越	0	0	0		
		翌年度繰越	0	0	0		
		その他増減	0	0	0		
	計		78,225	39,341	49,063	－	－
	執行額		73,629	29,257	40,367		
	執行率		94.1%	74.4%	82.3%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		対象路線における航空輸送旅客利用者数 対象路線における航路輸送旅客利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		－	－	(航空)60千人 (航路)76千人 (中間目標値)	－	(航空)64千人 (航路)78千人 (最終目標値)
	実 績		(航空)74千人 (航路)62千人	(航空)36千人 (航路)22千人	(航空)46千人 (航路)27千人		
	達成度		－		(航空)77% (航路)36%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 新型コロナウイルスの影響もあり、航路においては対象路線における利用者数は対前年度で減少(航空:104%, 航路94%)となったが、計136千人の両地域の交流が図られた。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で大きく減少(航空:49%, 航路35%)したが、計58千人の両地域の交流が図られた。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度は減少(航空:62.2%, 航路:43.5%)したが、対前年度は増加(航空:127.8%, 航路:122.7%)した。 また、同影響により、中間目標達成度は航空:77%, 航路36%であったが、計73千人の両地域の交流が図られた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航空運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業					交付率	6/10
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	1,243,883	1,165,258	1,078,198		
		補正予算	▲ 36,393	▲ 478,662	▲ 277,111		
		前年度繰越	0	0	0		
		翌年度繰越	0	0	0		
		その他増減	0	0	0		
		計	1,207,490	686,596	801,087	－	－
	執行額		1,136,273	590,016	742,050		
	執行率		94.1%	85.9%	92.6%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		対象路線における航空輸送旅客利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		－	－	677千人 (中間目標値)	－	721千人 (最終目標値)
	実 績		577千人	350千人	428千人		
	達成度		－		63%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 新型コロナウイルスの影響もあり、対象路線における利用者数は対前年度で減少(93.8%)となったが、引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は対前年度で大きく減少(60.7%)したが、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度は減少(74.2%)したが、対前年度は増加(122.3%)した。 また、同影響により、中間目標達成度は63%であったが、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航路運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業					交付率	6/10
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算	281,706	235,256	293,019	234,502	
		補正予算	▲ 54,160	▲ 106,040	▲ 109,620		
		前年度繰越	0	0	0	0	
		翌年度繰越	0	0	0		
		その他増減	0	0	0		
		計	227,546	129,216	183,399	234,502	-
	執行額		201,309	115,582	166,143		
	執行率		88.5%	89.4%	90.6%	-	-
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		136千人	136千人	136千人 (中間目標値)		136千人 (最終目標値)
	実 績		125千人	63千人	76千人		
	達成度		91.9%	46.3%	55.9%		
	達成状況の評価		【R元年度】 引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。(台風による欠航増加やコロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。)				
			【R2年度】 奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。				
			【R3年度】 奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は伸び悩んでいる。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	農業創出緊急支援推進事業						
担当部課	農政部農政課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	—				
事業分類	農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美地域の食文化を支える伝統野菜や果樹の生産性向上を図り、供給力を高めるとともに、農家の所得向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	563	642	650		
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	563	642	650	—	—
	執行額		553	606	603		
	執行率		98.2%	94.4%	92.8%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		① 奄美の伝統野菜 葉にんにくの生産性向上(単収増加) ② 奄美の島野菜 島らっきょうの生産性向上(単収増加) ③ 奄美プラム(カラリ)の生産性向上(栽培面積拡大)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		—	—	① 810kg/10a ② 700kg/10a ③ 27ha	—	① 920kg/10a ② 900kg/10a ③ 30ha
	実 績		—	① — ② — ③ 29.7ha	① — ② — ③ 31.7ha	—	—
	達成度		—	—	① — ② — ③ 117%	—	—
	達成状況 の 評価	【R元年度】 葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖及び奄美プラム新系統の早期育成方法試験用の苗木植栽・各種調査、高品質果実生産技術検討のためのほ場選定等を行った。令和元年度については、アウトカム指標の実績となる数値なし。					
		【R2年度】 葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖、島らっきょうの優良系統の選抜を行った。アウトカムの実績となる数値なし。奄美プラムは、台木に穂木を次いで363本植え付けた(2.0ha:18本/10aで積算)。					
		【R3年度】 葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖、島らっきょうのウイルスフリー種球の作出および増殖を行った。R5年度に現地供給予定のため、R3年度はアウトカム指標の実績となる数値なし。奄美プラムは、大玉新系統の生産安定のための施肥試験および生育調査を行った。また、台木に穂木を次いで355本植え付けた(約2.0ha:18本/10aで積算)。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	葉にんにくについては、R4年度にウイルスフリー種球の生産力検定、R5年度に現地供給。島らっきょうについては、R4年度にウイルスフリー種球の増殖および生産力検定、R5年度に現地供給。奄美プラムについては、R5年度まで各種試験・調査を行い、R5年度にマニュアルを生産者等に配布。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	さとうきび産地活性化事業(さとうきび機械導入等支援事業)						
担当部課	農産園芸課	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	奄美群島一円				
事業分類	②農業の生産性の向上に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、作業受託組織等を対象に機械整備等の支援を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			31,830		
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	31,830	-	-
	執行額				30,568		
	執行率		-	-	96.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		適期管理による単収の向上(kg/10a)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標				5,332		
	実 績				5,333		
	達成度				100		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られ、目標達成ができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、引き続き、作業受託組織等を対象に機械整備等の支援を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハブ対策事業 (ハブ駆除対策事業)						
担当部課	くらし保健福祉部薬務課		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	鹿児島県		実施市町村名	奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島			
事業分類	⑦ ア				交付率	5/10	
事業内容	住民の安全な生活環境を確保するとともに、世界自然遺産登録後の取組等も視野に入れ、ハブの個体群調査と人との関わり合いを調査し、計画的なハブの駆除方法と、ハブの棲み分け(共存)を検討する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	3,820	3,846	3,410		
		補正予算		▲ 143	▲ 152		
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		3,820	3,703	3,258	-	-
	執行額		3,718	3,415	3,073		
	執行率		97.3%	92.2%	94.3%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標						
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		55以下	55以下	55以下	45以下 (中間目標値)	
	実 績		44	29	34	23	
	達成度		目標達成	目標達成	目標達成		
	達成状況 の評価		【R元年度】 咬傷者数は44人で、目標を達成した。				
			【R2年度】 咬傷者数は34人で、目標を達成した。				
			【R3年度】 咬傷者数は29人で、目標を達成した。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	ハブ咬傷者数55人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハブ対策事業 (ハブ咬症対策事業)						
担当部課	くらし保健福祉部薬務課	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島				
事業分類	⑦ ア			交付率	5/10		
事業内容	住人が安心して生活し活動するために、ハブの咬症及び治療対策に万全を期し、住民の保健医療の向上に寄与する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	17,098	4,347	1,302		
		補正予算	▲ 4,426	▲ 173	▲ 114		
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		12,672	4,174	1,188	-	-
	執行額		12,518	3,953	946		
	執行率		98.8%	94.7%	79.6%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ハブ咬傷による死亡者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		0	0	0	0 (中間目標値)	
	実 績		0	0	0	0	
	達成度		目標達成	目標達成	目標達成		
	達成状況 の評価		【R元年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
			【R2年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
			【R3年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	世界自然遺産「奄美」保全・活用事業						
担当部課	環境林務部 自然保護課 奄美世界自然遺産登録推進室	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	奄美群島一円				
事業分類	⑦ーエ 自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5／10		
事業内容	奄美の世界自然遺産登録に向け、推薦地のみならず、その周辺も含めた自然環境の保全と利用の両立を図るための施策を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	110,977	135,754	52,077		
		補正予算	▲ 6,000	▲ 39,519	▲ 13,553		
		前年度繰越	64,960	52,260	45,328	5,234	
		翌年度繰越	▲ 52,260	▲ 45,328	▲ 5,234		
		その他増減					
		計	117,677	103,167	78,618	－	－
	執行額		97,957	80,282	66,295		
	執行率		83.2%	77.8%	84.3%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標			115人 (中間目標値)			160人 (最終目標値)
	実 績		109人	133人	147人		
	達成度		－	115%			
	達成状況 の評価	【R元年度】 世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用 ルールの運用や奄美トレイルのルート選定・開通イベント、世界自然遺産登録の気運醸成を図るためのシンポジウム、IUCNの現地調査対応等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。					
		【R2年度】 世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用 ルールの運用や奄美トレイルの全線開通イベント（R3年1月全線開通）、世界自然遺産登録の気運醸成を図るため県庁前にPR看板設置、奄美空港にPR広告掲示等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。					
		【R3年度】 令和3年7月26日「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されたことから登録記念イベント等を行い気運の醸成を図った。また、登録時に出された世界遺産委員会の要請事項への対応を行うとともに世界自然遺産としての価値の維持や自然環境の保全と利用の両立を図るため、金作原など利用ルールの運用や奄美トレイルの全線開通に伴う利用促進に取り組んだ。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	奄美大島、徳之島の世界自然遺産登録地域の適切な保全・管理に向けて、遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など、必要な取組を推進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美自然観察の森整備事業						
担当部課	環境林務部 自然保護課 奄美世界自然遺産登録推進室		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	市町村		実施市町村名	龍郷町			
事業分類	⑦ーエ 自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5／10	
事業内容	奄美・沖縄の世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据え、遺産地域への集中利用を避けるための気軽に奄美の森を体験できる施設として整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	117,000	108,000	105,000		
		補正予算			▲ 15,000		
		前年度繰越	115,600	117,000	69,640	59,470	
		翌年度繰越	▲ 117,000	▲ 69,640	▲ 59,470		
		その他増減					
		計	115,600	155,360	100,170	-	-
	執行額		116,794	155,770	103,020		
	執行率		101.0%	100.3%	102.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美自然観察の森利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		17,000人 (中間目標値)		20,000人 (最終目標値)		
	実 績		19,041人	3,830人	2,623人		
	達成度		112%	-	13%		
	達成状況 の 評価	【R元年度】 ボードウォークの改修、展望デッキ撤去・新設、トイレの新設、パノラマトリデの補修、園路整備、バス駐車場の整備等を実施した。(前年度繰越予算) 整備工事は、途中であるものの、世界自然遺産の登録の気運が高まってきており、気軽に奄美の森を体験できる施設として、利用者数が増加し中間目標値を達成した。					
		【R2年度】 森の館(管理・展示施設)に係る敷地造成・建築・電気・機械設備・外構工事、アコウ観察路の新設、ドラゴントリデ(展望台)・四阿の補修、水景施設(池、流れ工)工事、園路工事等を実施した。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数が激減したことから中間目標値の達成が困難となった。					
		【R3年度】 園路及び園路広場、野鳥観察施設(昆虫小屋、池)、休憩・学習施設、指示標識、IoT整備等を実施した。 8月から3月まで工事に伴う閉園期間と併せて新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数が激減したことから中間目標値の達成が困難となった。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	次号計画の調整に期間を要したことから一部繰越を行う。引き続き、早期完成を目指してリニューアル工事を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	水産資源利用開発調査						
担当部課	商工労働水産部水産振興課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	鹿児島県		実施市町村名				
事業分類	⑦-オ 林業及び水産業の振興に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の水産業振興を図るため、沿岸域で藻場造成や栽培漁業、ソデイカを効率的に操業するための技術開発試験や調査等を行うとともに、地域水産物の鮮度保持技術の開発や未・低利用資源の加工品開発のための調査等を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	6,207	4,040	3,270		
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		6,207	4,040	3,270	-	-
	執行額		6,146	3,450	2,499		
	執行率		99.0%	85.4%	76.4%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		海面漁業の生産額				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		10,170		10,329		10,382百万円 (最終目標値)
	実 績		8,946		※8,471		
	達成度		88%		82%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約88%となった。				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染拡大による需要低下がみられた。				
			【R3年度】 新型コロナウイルス感染拡大による需要低下や海底火山由来と思われる軽石の大量漂着等による出漁自粛等の影響を受け、目標値の約82%となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	地域特産種の資源増大や藻場造成、漁場予測技術の開発と効率的な操業支援に加え、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。						

※R3年度実績は実績評価時の直近のデータ(R2年度)を用いた

漁船漁業: 群島内漁協への聞き取り調査 962百万円

養殖漁業: 2020年海面養殖実態調査 7,509百万円

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美パーク展示等リニューアル事業						
担当部課	観光・文化スポーツ部PR観光課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名					
事業分類	④観光客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5／10	
事業内容	奄美群島の観光・情報発信の拠点施設である奄美パークについて、世界自然遺産登録を見据えた改修を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	-	15,982	-		
		補正予算	120,000	153,983	54,250		
		前年度繰越	131,642	120,000	167,049		
		翌年度繰越	▲ 120,000	▲ 167,049	▲ 92,660		
		その他増減					
	計		131,642	122,916	128,639	-	-
	執行額		131,165	122,515	111,066		
	執行率		99.6%	99.7%	86.3%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島の宿泊観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標					810千人 (中間目標値)	824千人 (最終目標値)
	実 績		917千人	602千人	集計中		
	達成度		—	—	—		
	達成状況 の 評価	【R元年度】 目標を達成しているが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。					
		【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、目標を達成できなかったが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。					
		【R3年度】 現在、奄美群島の宿泊観光客数は集計中である。奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	奄美大島が世界自然遺産に登録され、情報発信拠点施設としてより重要な施設となることから、引き続き着実に事業の推進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	農業創出緊急支援事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村、営農集団等		実施市町村名	大和村外8町			
事業分類	② 農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10, 6/10	
事業内容	奄美群島の特性に即した農業振興のため、付加価値の高い農業の推進と、台風災害に強い施設等の整備を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	164,383	451,663	174,238		
		補正予算	456,499	40,753	230,478		
		前年度繰越	0	473,928	421,000	441,784	0
		翌年度繰越	▲ 473,928	▲ 421,000	▲ 380,274		
		その他増減					
		計	146,954	545,344	445,442	441,784	—
	執行額		141,386	351,694	342,494		
	執行率		96.2%	64.5%	76.9%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島の農業産出額の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:百万円]		36,942	39,052			40,636
	実 績 [単位:百万円]		30,188	32,485			
	達成度		82%	83%			
	達成状況 の 評価		【R元年度】※目標値は平成28年度数値 平成30年度(29,118百万円)に比べ、103.6%に増加したものの、基準値の82%となった。引き続き本事業により、付加価値の高い農業と、台風災害に強い施設等の整備を推進し、農業算出額の増加を図る必要がある。				
			【R2年度】 令和元年度に比べ、107.6%に増加したものの、基準値の83%となった。引き続き本事業の推進により農業算出額の増加を図る必要がある。 また、新型コロナウイルスの影響等により農業機械等の納入に遅れが生じ、執行率は令和元年度に比べ低くなっている。				
			【R3年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定 新型コロナウイルスの影響により農業機械等の納入に遅れが生じ、執行率は令和2年度同様低くなっている。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	畜産緊急支援事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	② 農業の生産性の向上に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	与論島における畜産業の安定的な運営・発展のため、死亡獣畜の保管・輸送等に必要な冷凍貨物コンテナ等の設備を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		30,290			
		補正予算					
		前年度繰越		0	30,290	6,447	0
		翌年度繰越		▲ 30,290	▲ 6,447		
		その他増減					
		計	-	0	23,843	6,447	-
	執行額				22,224		
	執行率		-	-	93.2%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		与論町における生産牛飼養頭数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:頭】				5,450		5,500
	実 績 【単位:頭】			5,669	5,768		
	達成度				105.83%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 子牛販売価格が安定しており、農家の増頭意識が強く、目標頭数を大幅に超える増頭となった。				
			【R3年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により積載型トラッククレーンの納期が大幅に遅れ当該事業のみ翌年度繰越となったが、冷凍コンテナの導入等により死亡獣畜の保管・輸送が可能となる環境整備が行えた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	現在、死亡獣畜輸送に係る事務手続を行っており、まもなく完了し本格稼働が行える状況にある。今後は、冷凍コンテナ等の整備が行えたことにより死亡獣畜の安定的な処理・輸送が行える。死亡牛発生事故率の低減への取り組みを行うとともに生産・出荷の拡大を図っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICT先進技術習得事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	情報通信産業自体の振興や、その他各種産業の情報化による経済活動活性化や、生産性向上を図るための人材育成として「島外スキルアップ助成事業」及び「先進技術習得事業」を実施する。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	7,484	7,484	7,484		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	7,484	7,484	7,484	—	—
	執行額		7,177	6,612	6,395		
	執行率		95.9%	88.3%	85.4%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①先進技術習得事業での研修受講者数 ②島外スキルアップ事業での研修受講者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:人〕			①180人 ②6人	①270人 ②9人		
	実 績 〔単位:人〕		①115人 ②4人	①195人 ②5人	①286人 ②6人		
	達成度			①108% ②83%	①105% ②66%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 事業撤退やコールセンター業務を行う企業の雇用人数削減から基準年度（H29年度）の760名から減少しているが、既存事業所の人員増や新規事業者も発生しており、目標に向けて進んでいる。				
			【R2年度】 全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響のなか、島外への渡航や各企業の活動が抑制され、特に島外スキルアップ事業の活用事業者が減少し、②については目標値に達することができていない。				
			【R3年度】 ICT関連企業従事者に対する先進技術習得のための研修講座を開催し、①については目標達成したものの、島外スキルアップ事業の活用事業者が減少し、②については目標値に達することができていない。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	情報通信関連企業や従事者等に対するICTに関する技術及びサービス活用方の習得支援について、R3年度に整備したWorkStyle Labの活用や既存企業への外部人材の招聘支援により実施することで、事業拡大による雇用人数増加やフリーランスの事業主化を促進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10, 6/10
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに位置付けられた重点三分野(「農業」「観光／交流」「情報」)に、「文化」「定住」の二分野を新たに加え、奄美群島一体となった施策の展開を促進する。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	166,306	141,418	181,905		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	166,306	141,418	181,905	—	—
	執行額		132,430	122,931	166,332		
	執行率		79.6%	86.9%	91.4%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		チャレンジ世代(20歳～44歳)人口				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:人〕				21,438		21,300
	実 績 〔単位:人〕		21,410	21,383	20,852		
	達成度				97.2%		
	達成状況 の評価	【R元年度】 チャレンジ世代(20～44歳人口)は減少の一途をたどっている。令和5年度の目標達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。					
		【R2年度】 国勢調査による年齢別人口が未公表のため未記載					
		【R3年度】 令和5年度の目標を達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	ビジョン実現に向けた事業を積極的に展開していくことに加え、コロナ禍の影響を考慮しながら取組を検討していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島チャレンジ人材育成事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに掲げた戦略の基本方策に基づき、民間主導型の新たな産業振興モデルを構築するための人材の確保、育成、教育を図る。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	31,668	30,488	26,692		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	31,668	30,488	26,692	—	—
	執行額		27,264	27,301	25,101		
	執行率		86.1%	89.5%	94.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島の自立的発展実現のため、民間企業等の主導による新たな産業振興モデル構築に繋がる起業家的人材及び新規商品・サービスの創出件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:件〕			15			40
	実 績 〔単位:件〕		7	11	10		
	達成度			73%			
	達成状況 の評価		【R元年度】 奄美群島民間チャレンジ支援事業で7件が採択された。 併せて、奄美群島スタートアップ支援実証事業で群島独自のクラウドファンディングサイトの構築・運営するための先進地視察を行った。				
			【R2年度】 民間チャレンジ: 募集件数33件 採択件数11件 起業家人材育成: 新規受講生10名 奄美群島でシゴトを創るゼミを開催 スタートアップ支援事業: クラウドファンディングサイト「FAAVO奄美群島」を開設 (6件起案、調達金3,545,100円)				
			【R3年度】 民間チャレンジ: 募集件数47件 採択件数11件 事業完了10件 起業家人材育成: H26年度～R2年度までの成果をまとめ、課題と成果の整理を行った スタートアップ支援事業: クラウドファンディングサイト「奄美群島 with CAMPFIRE」を開設(5件起案、調達金4,231,607円)				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	人材育成成果発表会						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が自らの受講体験を広く地元住民等に対して語る(プレゼンする)機会を創出することにより、次年度以降の事業参加者の掘り起こしを行うとともに、参加者間の連携の促進や認知度の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	3,600	4,180	5,073		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	93			
		計	3,600	4,273	5,073	—	—
	執行額		3,600	4,273	5,000		
	執行率		100.0%	100.0%	98.6%	—	—
成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島の自立的発展実現のため、民間企業等の主導による新たな産業振興モデル構築に繋がる起業家的人材及び新規商品・サービスの創出件数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:件]			15			40
	実績 [単位:件]		7	11	12		
	達成度			73%			
	達成状況 の評価	【R元年度】 龍郷町において人材育成成果発表会を開催された。7名の話し手が自らの受講体験等を発表した。 併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、6社が出店した。約150名参加。					
		【R2年度】 伊仙町において人材育成成果発表会を開催した。7名が自らの体験等を発表。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、4社が出店。約80人が参加。					
		【R3年度】 与論町での開催を予定していたが、新型コロナの影響によりオンラインでの開催となった。7名が自らの体験等を発表。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、5社が出店。9/22現在 1,629回視聴。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	次年度以降も広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が、自らの受講体験を広く地元住民等に対して語ることで新たな人材の掘り起こしを図る。 併せて、広域事務組合の実施する人材育成事業認知度の更なる向上を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光物産広域連携事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の観光交流人口増加に向けた一般消費者への旅行喚起施策とあわせて、キャリア及び旅行会社と連携した旅行商品造成活性化施策及び物産面のブランディングを積極的に展開し、観光来訪の促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	78,628	51,061	53,139		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	78,628	51,061	53,139	—	—
	執行額		49,954	37,293	52,383		
	執行率		63.5%	73.0%	98.6%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数の内、観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			359,780			386,251
	実 績 [単位:人]		391,969	301,523	406,750		
	達成度			84%			
	達成状況 の評価		【R元年度】 奄美群島への入込客数が年々増加している状況である。 今後も、観光来訪の促進を図る。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により旅行客が大きく減少している。 減少した客数の回復のためにも、来訪の推進が必要。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響があったが、旅行客数は回復傾向にある。 今後も客数増加に向け、来訪の推進が必要。				
【R4年度】							
		【R5年度】					
今後の取組方針		引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。					

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	UIOターン支援体制構築事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島における、人口流出及び高齢化による経済規模の縮小及び産業衰退への対応策として、奄美群島への人材の呼び込み促進に繋がる官民一体となった支援体制の構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	5,169	4,279	5,355		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計		5,169	4,279	5,355	－	－
	執行額		4,577	3,321	4,179		
	執行率		88.5%	77.6%	78.0%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		R1～R5年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				25		43
	実 績 [単位:人]		9	13 (4)	23 (10)		
	達成度				92%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和3年度の目標のうち36%を達成している為、令和元年度の目標は達成されていると考えられる。				
			【R2年度】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和元年度の実績の半分しか満たしておらず、令和3年度の間目標を達成させるための対応を検討しなければならない。				
			【R3年度】 令和5年度の目標のうち5割を超えており、一定の成果は上がっている。今後は、オンラインや現地ツアーの開催を含めて情報を発信し、目標値を越せるよう対策を行う。				
			【R4年度】				
【R5年度】							
今後の取組方針	移住者・交流人口増加のため、都市部の移住・交流フェアへの参加や移住体験プログラムの周知、空き家対策の取組を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島エコツーリズム推進事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美群島における地域資源の保全と適正な管理を行い、地域が主体となって持続可能な観光形態を構築し、「環境保全」「地域振興」「観光振興」のバランスのとれた発展を目指すエコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図る。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	18,389	23,275	23,829		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	18,389	23,275	23,829	—	—
	執行額		18,148	23,243	12,512		
	執行率		98.7%	99.9%	52.5%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島認定エコツアーガイドの増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:人〕			115			160
	実 績 〔単位:人〕		109	133	147		
	達成度			116%			
	達成状況 の評価		【R元年度】 奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:24名)				
			【R2年度】 奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:24名)				
			【R3年度】 奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:14名)				
			【R4年度】				
【R5年度】							
今後の取組方針	エコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図るとともに、自然観光資源のモニタリングについて運用を本格化し、人為的影響による資源の状態の変化等を把握する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島地域通訳案内士育成事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	近年の奄美群島の認知度の拡大及び、大都市圏国際空港からの直行便就航による交流人口の多様化に対応した受入体制の構築を図るため、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士を育成する。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	19,434	18,084	17,472		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	19,434	18,084	17,472	—	—
	執行額		19,279	17,699	19,522		
	執行率		99.2%	97.9%	111.7%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:人〕			153			186
	実 績 〔単位:人〕		129	129	159		
	達成度			84%			
	達成状況 の 評 価		【R元年度】 奄美群島各島において地域通訳案内士育成研修を開催し、奄美群島地域通訳案内士の育成を図った。(英語:20名／中国語:2名)				
			【R2年度】 地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】40名(英語28名、中国語12名)				
			【R3年度】 地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】30名(英語22名、中国語5名、韓国語3名)				
			【R4年度】				
【R5年度】							
今後の取組方針	今後も、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士の育成を推進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光動向調査						
担当部課	—		事業実施年度	令和3年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	1年間に奄美群島を訪れた国内観光客の人数, 滞在日数, 年代, 性別, 居住地等のデータを月ごとに取得するほか, 移動分析で観光客の動向を調査し, 今後の観光戦略の基礎データとする。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			6,371		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	6,371	—	—
	執行額				6,371		
	執行率		—	—	100.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数の内、観光客数 (当事業内において実施している観光振興基礎調査に基づいて推計)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			359,780			386,251
	実 績 [単位:人]				406,750		
	達成度						
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 携帯電話のGPSデータを基に奄美群島内110箇所への滞在者の居住地・性別・年齢等の属性を分析することにより、今後の観光戦略の基礎データを構築した。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	観光戦略に繋がるよう、成果物を各市町村へ配布した。令和3年度にて事業終了。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光プロモーション動画制作事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度～令和3年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島観光物産協会や各島観光連盟・協会といった観光事業者との連携により、訴求効果の高い群島全体の観光PR動画を制作する。また、デジタルマーケティングにより、観光客のターゲット設定を行うことで、奄美群島への更なる観光誘客拡大を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		1,188	25,408		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	1,188	25,408	—	—
	執行額			966	25,050		
	執行率		—	81.3%	98.6%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数の内、観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			359,780			386,251
	実 績 [単位:人]			301,523	406,750		
	達成度			84%			
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】 奄美群島の自然・文化といった観光資源を活用したプロモーション動画を制作するため、有識者と共に各島の景勝地等を視察し、12市町村、地元有識者と協議の上、撮影候補地を選定した。				
			【R3年度】 奄美群島の自然・文化といった観光資源を活用したプロモーション動画を制作し、YouTubeでの配信を行い、観光PRを実施した。本事業により奄美群島への更なる観光誘客拡大を図った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	動画広告を配信することで得られる視聴者の属性(年代、性別、国)、興味等を把握・分析。 分析データによりターゲットに応じた施策検討を行い、より効果的なプロモーションを図ることで 認知度向上につなげる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	戦略的情報発信支援事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度～令和4年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	6/10
事業内容	近年の奄美群島の注目度増大の機会を捉え、大手デジタルメディア事業者、群島内情報事業者と連携し群島の情報発信を行いつつその効果を調査することで、戦略的な情報発信やマーケティングを展開するスキルを備えた民間事業者の育成を図る。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		8,337	8,966		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	8,337	8,966	—	—
	執行額			8,317	8,053		
	執行率		—	99.8%	89.8%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①広告の効果性(注目度) ②広告の効果性(誘導率) ③事業者の情報発信力の向上率				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①②回 ③%】		①0回 ②0回 ③0%		①100,000回 ②1,000回 ③70%		①150,000回 ②1,500回 ③80%
	実 績 【単位:①②回 ③%】			①293,892 ②3,233 ③70%	①192,534 ②32,703 ③192%		
	達成度				192%		
	達成状況 の 評 価		【R元年度】				
			【R2年度】 yahooスポンサードコンテンツを活用し8記事を掲載した。全記事の総PV数は293,892回となった。スキルアップ研修については、群島各島において実施(民間事業者32名参加)				
			【R3年度】 yahooスポンサードコンテンツを活用し17記事を掲載した。全記事の総PV数は192,534回となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	群島内情報発信事業者と大手デジタルメディアの連携による訴求力の高い情報発信を行いつつ、民間事業者の情報発信スキルアップを図った。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美黒糖焼酎販路拡大・人材育成事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島の代表的な特産品である「奄美黒糖焼酎」を群島一丸となつて、戦略的プロモーションを展開することで、「奄美黒糖焼酎」の認知度向上・販路拡大を図るとともに、プロモーション活動を通じて焼酎業界の産業振興を図り、人材の育成・確保を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			9,600		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	9,600	—	—
	執行額				8,161		
	執行率		—	—	85.0%	—	—
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		奄美黒糖焼酎移出数量				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:kℓ]					7,500	7,800
	実 績 [単位:kℓ]				7,251		
	達成度						
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 黒糖焼酎の海外販路に向け、酒造組合や黒糖焼酎事業者等からなるワーキンググループを設置するとともに、米国での酒類の市場調査や、LAサンプルショールームへの出展やSakeShochuMeetupへの参加といった海外でのPR活動を行うなど販路拡大や蔵元の人材育成を図った。また、海外輸出へ関心のある企業に対する相談支援を行った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	黒糖焼酎の海外販路拡大に向け、引き続きワーキンググループを運営、海外でのPR活動を行うなどにより海外販路の拡大や人材育成を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光拠点連携整備事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村		実施市町村名	奄美市外7町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	観光レクリエーション施設等の園地整備等を実施し、観光客の周遊を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	157,362	481,275	640,187		
		補正予算	76	2,018	134,500		
		前年度繰越	325,174	399,832	328,076	404,974	0
		翌年度繰越	▲ 399,832	▲ 328,076	▲ 404,974		
		その他増減	0	3,578			
		計	82,780	558,627	697,789	404,974	－
	執行額		460,298	556,733	666,607		
	執行率		556.0%	99.7%	95.5%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島全体における入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			887,895			950,000
	実 績 [単位:人]		891,351	517,192	556,716		
	達成度			58%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。				
			【R3年度】 コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナ禍の影響により入込客数が減少したが、アフターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	あやまる岬エリア整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美市北部地域の貴重な観光資源である「あやまる岬観光公園」を拠点とした観光ルートの確立情報発信,休憩,老朽化施設等の整備・拡充を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	30,440	30,611	61,724		
		補正予算	31,112				
		前年度繰越	0	31,082	0	2,924	0
		翌年度繰越	▲ 31,082		▲ 2,924		
		その他増減	0				
		計	30,470	61,693	58,800	2,924	—
	執行額		21,254	61,693	58,800		
	執行率		69.8%	100.0%	100.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		あやまる岬観光公園来園者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			118,000	118,000	120,000	
	実 績 [単位:人]		118,475	56,370	62,771		
	達成度			48%	53%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度において令和2年度目標値を上回り着実に事業効果が上がっている。令和2年度についてはコロナの影響により実績低下の見込み				
			【R2年度】 令和元年度実績において、令和2年度目標を達成していたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度の実績は減少				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響が長引き、目標は未達成ながらも、回復傾向にある。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和4年度で観光整備が終了予定のため、ソフト事業の拡充にシフトし周遊型観光の振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	アマミノクロウサギ飼育展示施設整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	アマミノクロウサギ飼育展示施設の整備等を実施し、観光旅客の受入体制の整備を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	7,083	60,400	2,500		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	56,000	0	0
		翌年度繰越	0	▲ 56,000			
		その他増減	0				
		計	7,083	4,400	58,500	—	—
	執行額		7,083	4,400	53,769		
	執行率		100.0%	100.0%	91.9%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美野生生物保護センター来館者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]		10,500		15,000		20,000
	実 績 [単位:人]		10,484	7,284	7,445		
	達成度				49.6%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 施設整備の目的について文化庁、環境省と事前協議を行い、整備について概ね了承を得た。また、クロウサギについての有識者会議を開催し基本方針について検討した。				
			【R2年度】 有識者会議を開催し、「大和村アマミノクロウサギ研究飼育施設(仮称)設置運営に係る基本計画」を策定した。それに基づき、ボーリング調査及び建築実施設計をR3年度にかけて実施中。				
			【R3年度】 ボーリング調査、建築実施設計及び展示実施設計を実施。観光旅客の受入に向けて施設整備が進んだ。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	実施設計に基づき、予算確保次第建築から発注予定。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美フォレストポリス再整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	世界自然遺産登録を見据え、奄美フォレストポリスを再整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予 算 の 状 況	当初予算	0	3,600	71,300		
		補正予算	67,586				
		前年度繰越	94,506	67,586	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 67,586				
		その他増減	290				
		計	94,796	71,186	71,300	—	—
	執行額		94,796	71,110	71,038		
	執行率		100.0%	99.9%	99.6%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美フォレストポリスへの入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				23,000		25,000
	実 績 [単位:人]		14,711	12,598	11,892		
	達成度			50%	52%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 観光者かき入れ時の夏場にLCC航空会社の奄美路線の停止期間があり客足が伸び悩んだ。奄美フォレストポリス再整備は半ばであり、今後の入込客数の更なる増加につながるよう着実な事業推進を図っていく。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響で島外の観光客の激減により来園者、宿泊者が落ち込んだ。また世界遺産登録も延期となったが、村によるマイクロツーリズムの推進したことにより、宿泊者数は増加へ転じることもあり、アフターコロナを見据え、より一層推進を図る予定としている。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響で島外の観光客の激減、感染防止による閉園等により来園者、宿泊者が落ち込んだままであった。念願であった世界遺産登録による観光客増加を見込んでいたが、その期待は来年度への持ち越しとなった。今後も順次再整備を行い、新たな観光客を取り込める魅力ある施設へ推進を図りたい。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き世界自然遺産登録後の観光客増加も見据えた計画的な奄美フォレストポリス園地全体の再整備を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ゲストハウス整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光客に集落の雰囲気や環境を体験してもらい、集落民との交流を感じる機会・環境を提供するためのゲストハウスを整備し、観光満足度を向上させることで、交流人口の増加を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			28,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	28,000	—	—
	執行額				23,560		
	執行率		—	—	84.1%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ゲストハウス稼働日数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:日]			0		100	150
	実績 [単位:日]				0		
	達成度				0		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 中長期滞在が可能となるゲストハウスが整備されたことにより、利用者が集落での生活を体感出来る環境が整ったことから村内での滞在時間増加による観光外貨獲得でなく、「交流人口」→「関係人口」→「定住人口」への転換が期待できる。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	事業効果をより一層効果的に発揮するためにゲストハウスの稼働率向上を図ることを目的としたICTを活用した集客計画を推進したい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	国直うみがめ公園整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	国直うみがめ公園に大型遊具を設置し、家族連れの観光客への訴求力を更に向上させる。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			53,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	53,000	—	—
	執行額				45,825		
	執行率		—	—	86.5%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		体験事業による年間受入人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				1,200		3,000
	実 績 [単位:人]				465		
	達成度				38.8%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 複合遊具の設置を図り、ウミガメ公園が完成したが、コロナの影響により観光客の減少により、体験事業による受入人数は伸びなかったが、マイクロツーリズムの推進を図った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	「国直ウミガメ公園」が完成し、乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境ができることにより、家族連れの訴求力を高めることができた。今後、滞在時間・交流人口の拡大が期待されることから、更なる誘客の促進を図っていく必要がある。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	清水地区トイレシャワー施設整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	瀬戸内町清水地区の海水浴場にトイレ・シャワー施設を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			45,257		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	29,479	0
		翌年度繰越			▲ 29,479		
		その他増減					
		計	—	—	15,778	29,479	—
	執行額				12,200		
	執行率		—	—	77.3%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		瀬戸内町への年間入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				170,000		
	実 績 [単位:人]				89,365		
	達成度				53%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 当初令和4年3月完成予定であったが、資材等の搬入がコロナ禍により遅延し、繰越事業となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和4年4月に完成し、5月から利用を開始した。癒やしの島を満喫できるように観光客の受入増加を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	秋名地区「環境文化の学び舎」整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度～令和3年度			
事業主体	龍郷町		実施市町村名	龍郷町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	国立公園普通地域である秋名集落と鹿児島大学が連携し、「環境文化の学び舎」となる施設を整備する。「生態系管理の学び舎」である奄美自然観察の森整備と併せて、「自然とのつながりを感じるシマの暮らし」を観光資源として交流人口増加を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		8,000	82,652		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	8,000	82,652	—	—
	執行額			6,457	78,621		
	執行率		—	80.7%	95.1%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		「環境文化への学び舎」来館者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標			0			6,000
	[単位:人]						
	実 績			0	50		
	[単位:人]						
	達成度						
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響で大学との連携事業が実施できなかったが、数度の住民意見交換会を踏まえ、基本実施設計を実施した。				
			【R3年度】 本体工事着工・完了。令和4年4月に供用を開始する。 本事業により、交流人口の増加に向けて施設整備を推進することができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	奄美群島国立公園地域に含まれる同地区の秋名集落において、シマの日常の暮らしぶりや伝統文化である「秋名アラセツ行事」を、見て・触れて・知る施設として位置付け。奄美大島の新たな観光ルート(県道ルート)として、観光振興に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和城観光地連携整備事業						
担当部課	商工水産観光課		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	天城町		実施市町村名	天城町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	見晴らしの良い絶景ポイントとなっている大和城の周辺整備等を実施し、観光客等の利便性向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	63,500	46,000	24,922		
		補正予算	30,500		42,000		
		前年度繰越	0	30,500	25,440	62,071	0
		翌年度繰越	▲ 30,500	▲ 25,440	▲ 62,071		
		その他増減	0	16			
		計	63,500	51,076	30,291	62,071	-
	執行額		63,500	51,075	30,285		
	執行率		100.0%	100.0%	100.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:人]				130,000		132,000
	実績 [単位:人]		142,734	80,480	90,807		
	達成度				69.9%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 後年度の目標値まで達成したことは評価できる。しかし整備は半ばであるため、今後も入込客数の更なる増加につながるよう事業推進を図るとともに世界自然遺産登録を見据えた環境と自然に配慮した事業推進を図る。				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度実績を大きく下回ったが、アフターコロナを見据え、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
			【R3年度】 新型コロナウイルス感染症の影響から、若干回復傾向にある。アフターコロナを見据え、令和3年度末に運用を開始した大和城バンガローを軌道に乗せ、さらなる入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	入込客数の更なる増加につながるよう、環境整備や観光地PR等の強化を図るとともに、世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	笠石海浜公園周辺整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度			
事業主体	和泊町		実施市町村名	和泊町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	笠石海浜公園内のゆり園に休憩施設を整備し、利用者の満足度向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			35,302		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	35,302	-	-
	執行額				30,417		
	執行率		-	-	86.2%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		笠石海浜公園に訪れる観光ツアー客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標				4,700		5,000
	[単位:人]						
	実 績		3,450	1,779	2,117		
	[単位:人]						
	達成度				45.0%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から令和3年度にかけて入込客の減少やツアーのキャンセル等が増加したことで目標を大幅に下回った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症拡大の影響にもよるが、笠石海浜公園の環境整備による利便性向上が図られたことの周知・啓発を島内旅行関係団体(観光協会及びバス企業団等)に行うことで観光ツアーによる誘客促進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大金久海岸環境整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	大金久海岸周辺一帯の遊歩道施設の有効利用のため、崩れてしまっている箇所を修繕し、かつ、トレーニングコースとしても利用できるようゴム舗装にするなどの遊歩道の再整備を行い、一体の景観整備も併せて進め、エコツーリズムやスポーツツーリズムの推進による観光客の増を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			17,530		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	17,530	-	-
	執行額				16,575		
	執行率		-	-	94.6%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		与論島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				80,000		90,000
	実 績 [単位:人]				42,694		
	達成度				53%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 老朽化した既存遊歩道をゴムチップ舗装に改修整備し、併せて沿道不毛地帯の植栽を行った。舗装に関しては、長さ195.5m、幅1.5mとなっている。百合ヶ浜及び遊歩道散策による観光客の滞留増加を図るため、施設整備を推進することできた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	一部未整備の箇所があることから、次年度でもゴムチップ舗装及び沿道不毛地帯への植栽を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業						
担当部課	商工水産観光課	事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	島唄、闘牛等の各種イベントの開催や特産品販売等を行える複合施設を整備し、交流人口の拡大を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算		40,000	203,300		
		補正予算			50,000		
		前年度繰越		0	40,000	242,928	0
		翌年度繰越		▲ 40,000	▲ 242,928		
		その他増減					
		計	-	0	50,372	242,928	-
	執行額				49,532		
	執行率		-	-	98.3%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:人】				130,000		132,000
	実 績 【単位:人】			80,480	90,807		
	達成度				69.9%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に入込客数が減少となった。 事業計画の再検討に伴い、全額を翌年度へ繰越。				
			【R3年度】 昨年度より繰り越した設計業務等を完了し、一部の工事着手済み。次年度へ 全額を繰越し、整備が本格的に開始する。整備に併せて、施設運用へ向けた 関係機関との協議の場を持ち、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図 る。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	繰越後は早期に事業着手に努めるとともに、年次的に事業推進できるよう細部調整に努める。 世界自然遺産に登録されたことにより、観光需要が高まることを見据え、多様な観光ニーズを 的確に捉えつつ事業推進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美海洋展示館リニューアル事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美の自然や観光、道路等の防災情報を伝える施設のリニューアルを推進することで、奄美大島全体をテーマパークと見立てた各種施設とフィールドの連動プログラムを創出し、地域全体を観光産業フィールドとして地域の稼ぐ力の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		160,114			
		補正予算					
		前年度繰越		0	116,868	0	0
		翌年度繰越		▲ 116,868			
		その他増減					
		計	-	43,246	116,868	-	-
	執行額			43,245	116,672		
	執行率		-	100.0%	99.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		利用者アンケート項目「施設・サービス内容」の大変満足・満足度				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位: %]				70		
	実 績 [単位: %]			61	65.7		
	達成度				93.9%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 R3年度へ繰越し				
			【R3年度】 リニューアル事業完了後の指標は達成できなかったが、概ね目標値に近い数値となった。コロナ禍による運用面の課題が残る。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	今後は更なる満足度向上に繋がるよう運用面も含め改善を図っていきたい。また、他施設への回遊を促す仕組みづくりを強化し、更なる観光振興へと繋げる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	湯湾地区観光総合案内所整備事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光総合案内所の機能を有した施設を整備し、村の自然環境の特性を生かした体験プログラムを提供し、村民と観光客との交流の場を提供するなど、奄美らしい観光スタイルの構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		97,250			
		補正予算					
		前年度繰越		0	97,250	0	0
		翌年度繰越		▲ 97,250			
		その他増減					
		計	-	0	97,250	-	-
	執行額				96,408		
	執行率		-	-	99.1%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]		0	2,000			6,000
	実 績 [単位:人]			0	0		
	達成度			0%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 建設予定地変更等により事業計画を再検討したことから、事業繰越となったため、目標を達成することができなかった。				
			【R3年度】 計画どおり事業を執行し、観光総合案内所の建設が完了した。 本事業により、観光客の受入体制の強化に向けて施設整備を推進することができた。（オープンはR4.4.1～）				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和3年度については、施設整備を完了させることができた。令和4年度は駐車場整備等を完了させ、来訪者増へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	天城岳登山道周辺整備事業						
担当部課	企画財政課		事業実施年度	令和2年度			
事業主体	天城町		実施市町村名	天城町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	天城岳登山道入口付近に駐車場, トイレ等を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		30,500			
		補正予算					
		前年度繰越		0	30,500	0	0
		翌年度繰越		▲ 30,500			
		その他増減					
	計		-	0	30,500	-	-
	執行額				30,426		
	執行率		-	-	99.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				130,000		132,000
	実 績 [単位:人]			80,480	90,807		
	達成度				69.9		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が大幅に減少した。 用地交渉に不測の日数を要したため、全額を翌年度へ繰越。				
			【R3年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が減少したため、成果目標 を達成できなかった。繰越事業は、すべて完了した。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	世界自然遺産に登録されたことによる観光客の増加を見据え、奄美トレイルや環境省が整備した登山道と一体的にPRし、滞在型観光の促進に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光施設機能強化事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	観光客満足度向上を図るため、観光地でのトイレの洋式化を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		1,418			
		前年度繰越		0	1,418	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,418			
		その他増減					
		計	-	0	1,418	-	-
	執行額				1,503		
	執行率		-	-	106.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:%】		64		66		
	実 績 【単位:%】			60	47.7		
	達成度				72%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】 事業計画の再検討により繰越事業となったため、実績値減に影響したと推測される。				
			【R3年度】計画どおり村内の観光施設2箇所のトイレを洋式化。本事業により、観光客満足度向上を図るため、観光施設の機能強化を推進することができた。今後も村内観光地トイレの洋式化をすすめ、目標とする満足度向上へとつなげたい。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	今後も村内観光地トイレの洋式化をすすめ、目標とする満足度向上へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光施設看板設置工事						
担当部課			事業実施年度	令和2年度～令和3年度			
事業主体	伊仙町		実施市町村名	伊仙町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	観光地への誘客に資する観光看板を設置し、観光客の利便性向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		600			
		前年度繰越		0	600	0	0
		翌年度繰越		▲ 600			
		その他増減					
	計		-	0	600	-	-
	執行額				509		
	執行率		-	-	84.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				130,000		132,000
	実 績 [単位:人]			80,480	90,915		
	達成度				69%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 コロナ禍により入込客数に影響がでたものの中間目標に対して61%の達成率であった。				
			【R3年度】 引き続きコロナの影響を受けつつも、達成率70%の結果を出している。 本事業により、観光客の利便性向上を図る一助となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナが収束に向かいつつ、社会的にも人々の移動が許容され始めている状況にある。今後は世界自然遺産を核として歴史文化面においても魅力発信を強化し、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光拠点連携情報発信事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	あまみ大島観光物産連盟		実施市町村名	奄美大島5市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の各観光拠点について、連携したPR・情報発信を実施し、観光客の周遊を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	10,000	10,000	10,000		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	10,000	10,000	10,000	—	—
	執行額		10,000	10,000	1,000		
	執行率		100.0%	100.0%	10.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位: %]		64	66	68		
	実績 [単位: %]		59	62.2	47.7		
	達成度		92.1%	94.2%	70.1%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 満足度調査の項目で、「交通:二次交通や特産品:お土産」への不満意見が多く、離島がゆえに全体の目標達成に至っていない。				
			【R2年度】 前年度と比較し全体満足度含む8項目で満足度がやや向上しておりコロナ禍においてもホスピタリティの水準を落とすことなくサービスの提供を行えた。				
			【R3年度】 前年度と比較し全体的に満足度が低下しており、満足度調査の項目で「宿泊、食事お土産、交通」への不満意見が多く、全項目において目標達成に至っていない。不満意見が多い要因として、コロナ感染拡大による来島自粛の要請や休業・時短要請が影響としたと考えられる。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、満足度調査の項目(宿泊、食事、土産、交通、観光施設、自然景観、ホスピタリティ)ごとに分析、合同専門委員会を通して情報の共有を図り改善に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい観光スタイル構築推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	世界自然遺産登録後に増加する国内外の観光客に対応するために、誘客及び受入体制の強化を図る。 ・誘客・受入体制強化事業 ・インバウンド受入支援 ・旅行商品造成事業						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	41,025	14,767	19,910		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	41,025	14,767	19,910	—	—
	執行額		35,056	14,767	19,908		
	執行率		85.5%	100.0%	100.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア) ②島の健康資源を活かした旅行商品造成数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		①64%	①66%	①68%		
	〔単位:①%②〕		②0件	②2件	②4件		
	実 績			①62.2%	①47.7%		
	〔単位:①%②〕		59	②0件	②0件		
	達成度		92.1%	①94.2%	①70.1%		
				②0%	②0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 キャッシュレス対応や二次交通パンフレットなど課題とされていた受け入れ態勢に取り組んだところである。アンケート調査による奄美観光への大変満足と回答した割合は59%であり、目標には到達していないが、引き続きアンケート等から把握する奄美の魅力を活かし、課題の克服に取り組むべきである。				
			【R2年度】 島の健康資源を活かした旅行商品造成事業として、奄美大島の健康資源の調査、健康体験プログラムの作成、セラピスト養成講座及び販促ツール(パンフレット)制作を実施した。しかし新型コロナウイルスの影響により施設の閉鎖、島内限定利用期間などもあり、旅行商品を造成し販売するに至らなかった。				
			【R3年度】 満足度低下の要因として、新型コロナ感染症拡大が依然として続いたことによる、観光・飲食面の行動制限(施設閉鎖・時短営業・島外客受入不可)等が影響していると考えられる。また、アンケート聴取方法の拡大によるサンプル数増加や、細かな調査設計の変更も一要因だと分析される。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	依然としてコロナ感染症の影響を大きく受けている状況であるが、コロナ禍の状況にあっても感染防止と地域経済の両立に向け、世界自然遺産登録を追い風に、地元事業者、DMO等と連携して安全・安心な奄美観光に柔軟に取り組んでいく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和村観光機能向上事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	「宿泊」「食事」「体験」という観光コンテンツが三身一体となり、魅力ある集落地域性を活かした総合型観光メニューを創出することで、観光訴求力を向上させ、交流人口の増加を促進することで、観光事業者の自立的成長を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			8,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	－	－	8,000	－	－
	執行額				8,000		
	執行率		－	－	100.0%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		体験事業・交流イベント開催による受入人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				2,500		3,000
	実 績 [単位:人]				2,100		
	達成度				84.0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 コロナ禍において、積極的な観光受入が出来ない状況下に来ることとして、アフターコロナを見据えた観光情報発信に努めるとともに、実際に来訪した際に活用される集落歩き案内看板の設置等を実施した。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念され、島外観光客の入込が想定出来ないことから、島内在住者を対象としたマイクロツーリズムを推進し、島内需要を喚起することで、身近なりピーターの創出を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	瀬戸内町旅行商品造成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美せとうち観光協会と連携し、体験メニューツアーを利用する観光客を対象にプレミアム分を付加した利用券を販売するとともに、購入者にアンケートを実施し、体験メニュー提供者にフィードバックすることで、新規メニューの開発や既存メニューのブラッシュアップを図り、エコツアーガイドも巻き込みつつ、観光客の増加・定着を目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	3,000	3,000	3,000		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	3,000	3,000	3,000	—	—
	執行額		2,999	2,999	3,000		
	執行率		100.0%	100.0%	100.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①瀬戸内町への年間の入込客数 ②観光メニュー参加者数 ③新規観光メニュー開発数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①②人③件]		140,000	①140,000 ②600 ③2	①150,000 ②650 ③5		
	実 績 [単位:①②人③件]		150,081	①93,660人 ②295人 ③2	①89,365 ②468 ③4		
	達成度		107.2%	①67% ②49% ③100%	①60% ②72% ③80%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 目標を達成した。昨年度は前年度比500名程度の伸びであったが、本事業を行った今年度は6,000人の伸びとなった。				
			【R2年度】 ①②についてはコロナの影響で目標を大きく下回ったが、③についてはアクティビティ関連のメニューを目標数開発できた。				
			【R3年度】 コロナの影響で目標には届かなかったが、観光メニュー参加者数は、大幅に増加した。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	計画通り今年度(R3)まで本事業を実施し、魅力的な観光商品の開発や既存メニューのブラッシュアップを行い、入込客の増による観光業の活性化を図る。併せてコロナ感染症対策を万全に整えて、安心・安全な観光スタイルを構築する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	スマートフォンを活用した観光客満足度向上事業						
担当部課		事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	観光アプリを開発し、観光地までの道案内やシマ歩きツアーの紹介、スタンプラリーの実施などアプリの多彩な機能を活用し、楽しみながらシマを巡る体験型観光を提供する。また、観光アプリの開発に併せ、1泊以上宿泊し、アプリ開発のためのアンケート調査に協力した方を対象にクーポン券を贈呈し、滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			3,135		
		補正予算		9,310			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	9,310	3,135	-	-
	執行額			8,781	3,135		
	執行率		-	94.3%	100.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		喜界島への年間の入込客数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:人】				65,000		70,000
	実 績 【単位:人】			45,848	38,492		
	達成度				59%		
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】 観光アプリの導入を行った。管理運営が今後の課題である。					
		【R3年度】 3D AR機能を導入することで観光客が島の成り立ち名等をイメージしやすくなった。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	様々な機能が揃ったところで今後の活用を検討していくことで、観光客が快適に観光できる環境を整えていきたい。また、多彩な機能をさらに充実させ、島の魅力をデジタルでも発信できるよう努めていきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	喜界町旅行商品造成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	喜界島観光物産協会と連携してプレミアム付き体験メニュー利用券を販売し、購入者のアンケート結果をメニュー提供者にフィードバックすることで、五感で喜界島を感じることができる新しいメニュー開発や既存メニューのブラッシュアップ等を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	2,061	6,214	5,380		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	156			
		計	2,061	6,370	5,380	—	—
	執行額		169	6,370	5,177		
	執行率		8.2%	100.0%	96.2%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①喜界島への年間の入込客数 ②観光プログラム参加者数 ③奄美らしい観光プログラム数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①②人③件]				①65,000 ②200 ③22		①70,000 ②350 ③25
	実 績 [単位:①②人③件]		59,634	①45,848 ②232 ③16	①38,492 ②330 ③12		
	達成度				①59% ②165% ③55%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			平成29年度より約6万人で横ばいが続いている。島のPR活動等を強化し入込客の増加を図りたい。				
			【R2年度】				
			コロナの影響で入込客数が減少しているが、好評で増刷も行った。さらなる入込客の増加を図りたい。				
			【R3年度】				
			プレミアム付き体験メニュー利用券は、かなり好評で、すぐ完売してしまいベストシーズンでの販売があまりできなかった。販売期間や部数についても検討すべき材料である。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	今後は、アクティビティへの使用を促進できるような取組を検討していきたい。また、実績を踏まえて販売シーズンや部数、内容等を検討しながら滞在型観光をさらに進めていきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン戦略的交流促進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	観光協会や旅行会社とも連携し、旅行客が島内の飲食店や体験プログラム等に利用できる地域商品券を付与し、購入者にアンケートを実施して体験メニュー提供者にフィードバックすることで、新規メニューの開発や既存メニューのブラッシュアップを図り、旅行客の増加による地域活性化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース	予算 の 状 況		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		当初予算	8,000	10,000	4,300		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	8,000	10,000	4,300	—	—
		執行額	8,000	4,686	3,165		
		執行率	100.0%	46.9%	73.6%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①②人③件]				①80,000人 ②10,000人 ③5件		①90,000人 ②11,000人 ③10件
	実 績 [単位:①②人③件]	69,332	①34,358人 ②3,031人 ③2件	①42,694人 ②3,693人 ③5件			
	達成度			①53% ②37%			
	達成状況 の評価	【R元年度】 地域商品券の付与やPR活動等の成果もあり、バスツアー等をはじめとした本部港からのフェリーを利用した来島者が増加傾向にある。					
		【R2年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島者数も大幅に減ったため当初予定していた目標を達成出来なかった。					
		【R3年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島者数も大幅に減ったため当初予定していた目標を達成出来なかった。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	新型コロナウイルス収束後を見据え、国頭村等の沖縄北部と連携した旅行商品造成やPR活動等を行い、世界遺産地域からの来島やフェリーを活用した誘客に取り組み、年間を通じた来訪者数や島内での観光消費額の増加に努めたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島地域資源活用事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	星空等をテーマに全国から関係団体を誘致してイベントを開催。また、広告宣伝等のプロモーションを実施し、広く全国に情報発信を行うことで、星空ツーリズム等の新しい客層及び新規旅行客の誘客による入込増客を図るとともに、大気環境や自然環境保全の機運を高め持続可能な観光発展を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		8,000	4,000		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	8,000	4,000	-	-
	執行額			5,900	3,000		
	執行率		-	73.8%	75.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①②人③件]				①80,000人 ②10,000人 ③5件		①90,000人 ②11,000人 ③10件
	実 績 [単位:①②人③件]			①34,358人 ②3,031人 ③2件	①42,694人 ②3,693人 ③5件		
	達成度				①53% ②37%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響によりイベント開催や誘客を図ることができなかった。一方でコロナ収束後を見据えたガイド育成、より美しい星空を見るため防犯灯の改良などの光害対策や住民の意識高揚を図るための観望会などを開催した。				
			【R3年度】新型コロナウイルスの影響によりイベントや研修等が実施できなかったものの、ガイド育成やPR活動、光害対策や島民の意識醸成などに取り組んだ。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	ガイドの養成講座やスキルアップのための支援等によりガイド数は徐々に増加している。引き続きガイド育成に取り組むとともに、ツアー等の受入れ窓口・体制(観光協会)の整備とPR活動を強化し誘客につなげていく。また、星空をみやすい環境整備のための光害対策と島民の意識醸成に向けた観望会等も引き続き実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島来訪機会創出事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	ヨロン島の認知度を向上させ、イメージ戦略によりヨロン島の自然や文化といった魅力をより多くの人に伝えるために、島内の映像クリエイター等と連携して発信力の高い動画を制作するとともに、デジタルマーケティングによる情報分析を行い、ターゲット層の明確化を図り、魅力ある旅行商品造成による観光客の増加を図る。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	27,088	36,000	8,330		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	27,088	36,000	8,330	－	－
	執行額		24,749	34,105	8,500		
	執行率		91.4%	94.7%	102.0%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:①②人③件〕				①80,000人 ②10,000人 ③5件		①90,000人 ②11,000人 ③10件
	実 績 〔単位:①②人③件〕		69,332	①34,358人 ②3,031人 ③2件	①42,694人 ②3,693人		
	達成度				①53% ②37%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 昨年度制作した「Yoron8K」を見て与論に興味を持った視聴者がより具体的に旅行を考えるよう、与論旅行のしかた、現地情報をまとめた動画の制作や、全編与論島ロケのドラマを制作・放映した。				
			【R2年度】 Yoron 8Kを踏まえた上でよりプロモーション力が高く、体験が想起できる動画を制作、YouTube配信・広告などのデジタルマーケティングを実施。また、日本国際観光映像祭と連携し、冬の与論島を舞台とした観光動画4本の制作や、観光事業者による与論島情報発信力を高めるための撮影セミナーを実施。				
			【R3年度】 Youtube広告に加え、Facebook広告、Instagram広告といったメディアMIX型による配信を実施。訴求力の高い動画とInstagramは相性が良く、多くのフォロワー獲得に繋がった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナ後の観光需要回復のタイミングに合わせて訴求力の高い動画を中心にFacebook広告、Instagram広告を配信し、興味を持った視聴者を観光協会HP、観光協会SNSへ誘導することで、コアなヨロン島ファンを獲得し、来島者増へ繋げていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島ウェルネスプログラム商品造成事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	ヨロン島の恵まれた自然環境と島人の優しさを活用し、地元のヨガインストラクターや飲食店、地域おこし協力隊等を巻き込みながら、旅行者に対して「癒やしと健康」を提供する体験プログラム・旅行商品造成や実施ガイドの人材育成及び受入体制の構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	2,000	2,500	2,000		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	2,000	2,500	2,000	—	—
	執行額		2,000	1,908	2,000		
	執行率		100.0%	76.3%	100.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		プログラムコースメニュー開発数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:件]				5		10
	実績 [単位:件]		1	2	3		
	達成度				60%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】 エッセンシャルオイルづくり体験やSUPヨガ等、複数のウェルネス体験メニューを組み合わせたモニターツアーを実施し、各メニューの実証実験ができた。				
			【R2年度】 関係事業者との連携体制を構築しつつ、人材育成講習等を実施した。また、地元食材を活用したウェルネス対応食事メニューの開発を行った。				
			【R3年度】 与論の薬草を活用した薬草サウナテントやお茶体験、海水温熱療法の開発を行った。本事業により、受入体制の構築、体験プログラムの開発や人材育成を推進することができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	開発した旅行商品の動画作成を行い、観光協会HPに掲載している。今後は、これらの動画等を用いたプロモーション活動を行うことでツアーへの誘客を図っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美市滞在促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	コロナ収束後も持続的な奄美観光を実現していくため、奄美満喫ツアーの助成事業の実施をはじめ、体験メニューのブラッシュアップや奄美の魅力の情報発信を行うことなどにより、観光客の満足度向上や滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		338,419			
		前年度繰越		0	184,792	0	0
		翌年度繰越		▲ 184,792			
		その他増減					
		計	-	153,627	184,792	-	-
	執行額			149,661	157,034		
	執行率		-	97.4%	85.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		旅行者の観光満足度(奄美大島中長期観光戦略)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:%】		64		68		
	実 績 【単位:%】			62.2	47.7		
	達成度				70.1%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言や島内感染者確認による事業の一時停止措置など、奄美を取り巻く観光状況は大変厳しい状況であったものの、旅行者の観光満足度については概ね目標を達成している。				
			【R3年度】 満足度低下の要因として、新型コロナウイルス感染症拡大が依然として続いたことによる、観光・飲食面の行動制限(施設閉鎖・時短営業・島外客受入不可)等が影響していると考えられる。また、アンケート聴取方法の拡大によるサンプル数増加や、細かな調査設計の変更も一要因だと分析される(調査主体である観光物産連盟の分析より)。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナ感染症で大きなダメージを受けた奄美観光の回復を図り、コロナ収束後の観光満足度の更なる向上や滞在日数の延伸につなげるよう各取組を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和村奄美満喫ツアー助成事業						
担当部課			事業実施年度	令和2年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美大島への誘客促進に資する2次交通や各目的型観光に対するインセンティブとなる助成を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		2,300			
		前年度繰越		0	1,500	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,500			
		その他増減					
		計	-	800	1,500	-	-
	執行額			141	13		
	執行率		-	17.6%	0.9%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ツアー体験人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		111		150		200
	【単位:人】						
	実 績			66	4		
	【単位:人】						
	達成度				2.7%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、島外からの利用者が減少となった。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響に伴う満喫ツアー利用実績が減少となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、奄美満喫ツアー助成事業を奄美大島5市町村連携して行うことにより、誘客促進及び交流人口の拡大を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	瀬戸内町体験型観光メニュー利用者促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	観光客の滞在促進を図るため、奄美満喫ツアーを実施する。また、瀬戸内町のメインコンテンツである「海」を海中清掃によりブラッシュアップし、満足度向上を図るほか、海中清掃の取組やweb配信用のイベントについて動画配信することで、瀬戸内町をPRし、誘客・滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		55,000			
		前年度繰越		0	1,000	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,000			
		その他増減					
		計	-	54,000	1,000	-	-
	執行額			53,078	360		
	執行率		-	98.3%	36.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		瀬戸内町への年間入込客数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:人】		150,081	160,000	170,000		
	実 績 【単位:人】			93,660	89,365		
	達成度			59%	53%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止等により、入込客が目標の58. 5%の、 93, 660人となった。				
			【R3年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止等により、入込客が目標の52. 6%の、 89, 365人となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナ終息後の観光客増に向けて、瀬戸内町のPR活動・情報発信をしていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	宇検村奄美満喫ツアー助成事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	奄美大島への誘客促進に資する2次交通や各目的型観光に対するインセンティブとなる助成を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		3,000			
		前年度繰越		0	2,860	0	0
		翌年度繰越		▲ 2,860			
		その他増減					
		計	-	140	2,860	-	-
	執行額			136	193		
	執行率		-	97.1%	6.7%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数のうち、観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:人】			359,780			386,251
	実 績 【単位:人】			260,256	276,565		
	達成度			72%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナの影響により受入客数の大幅減により、事業完了が困難となったため繰越事業となった。実績値についてもその影響が大きい。				
			【R3年度】 前年度に引き続き、新型コロナの影響が大きく、執行することが困難な状況であった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	新型コロナ収束のタイミング等を見計らい、奄美大島5市町村連携を図り事業を展開していきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	龍の郷滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	龍郷町	実施市町村名	龍郷町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	来島者誘致のために地元5市町村が連携し、体験メニューの利用などを目的とした奄美満喫ツアーの助成事業を実施し、観光客の誘客・滞在促進を図る。また、上記ツアーの利用を促進するため、町PR動画コンテンツの制作及びWeb配信により国内外の一般消費者を対象としたプロモーションを実施するほか、新規にプログラムを造成し、モニターツアーを実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		15,500			
		前年度繰越		0	10,400	0	0
		翌年度繰越		▲ 10,400			
		その他増減					
		計	-	5,100	10,400	-	-
	執行額			2,963	9,024		
	執行率		-	58.1%	86.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数のうち、観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:人】			359,780			386,251
	実 績 【単位:人】			260,256	276,565		
	達成度			72%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響で人の往来に大幅な制限がかかり、目標達成はならなかった。また、事業の執行にも多くの影響があり、繰越せざるを得なかった。				
			【R3年度】 ツアー助成を実施したほか、町公式観光動画を制作、Webによるプロモーションを展開した。コロナの影響で新規プログラムの造成は実現できなかった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針		町PR動画コンテンツを各方面で活用し、世界自然遺産登録やアフターコロナを見据えた国内外観光客の誘客を促進する。引き続きツアー助成も継続し、観光旅客の来訪及び滞在の促進を図る。					

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島町滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	域内の観光資源を十分に活用する旅行商品を造成し、滞在プランのモニターや広告宣伝等に取り組み、長期滞在者の増加及び体験型滞在プランの充実と満足度の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		7,000			
		前年度繰越		0	1,250	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,250			
		その他増減					
	計		-	5,750	1,250	-	-
	執行額			3,278	950		
	執行率		-	57.0%	76.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①滞在型プランの企画開発・ブラッシュアップ数 ②体験型観光の参加者数 ③観光客の実態把握数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①コース ②③人】		①9コース ②10人 ③0人	①10コース ②20人 ③100人			①12コース ②60人 ③300人
	実 績 【単位:①コース ②③人】			①6コース ②2人 ③28人	①5コース ②35人 ③35人		
	達成度			①60% ②10% ③28%	①50% ②175% ③35%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 事業計画のうち、宿泊割引がコロナの影響で実施できずに、翌年に繰り越した。				
			【R3年度】 昨年同様にコロナの影響で事業実施のタイミングが掴めなかった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	今後はコロナの落ち着いた状況をみて検討していきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	おいでよ！魅惑のアマパゴス事業						
担当部課	企画財政課ふるさと創生室	事業実施年度	令和2年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、停滞した観光需要を喚起するため、動画（連作ショートムービー）を制作し、若年層を主なターゲットとしたプロモーションを実施する。また、ショートムービーのロケ地等を結ぶ聖地巡礼マップにより町内を周遊し、かつ、ショートムービーを視聴した観光客に対して、町内宿泊施設に宿泊した場合に使用できるクーポン券を発行し、滞在型観光を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		18,476			
		前年度繰越		0	15,222	0	0
		翌年度繰越		▲ 15,222			
		その他増減					
		計	-	3,254	15,222	-	-
	執行額			3,210	15,155		
	執行率		-	98.6%	99.6%	-	-
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		①徳之島への入込客数 ②天城町公式YouTubeの視聴件数 ③天城町公式Instagramのフォロワー数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①人②③件】		①128,000人 ②— ③—		①130,000人 ②1,000件 ③500件		①132,000人 ②3,000件 ③1,000件
	実 績 【単位:①人②③件】			①80,480人 ②823件 ③418件	①90,807人 ②91,110件 ③712件		
	達成度				①69.9% ②9,111.0% ③142.4%		
	達成状況の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数は大幅に減少したものの、公式YouTube視聴件数や公式Instagramフォロワー数は順調に伸びている。業務の一部が翌年度へ繰越となったため、感染状況を注視しながら事業推進に取り組む。				
			【R3年度】 前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、入込客数は目標を下回ったものの、ショートムービーの公開に伴い、町公式YouTubeや公式Instagramは目標値を大幅に達成することができ、観光PRに繋がった。また、旅んちゅチケット（クーポン券）についても即完売となり、高評価であった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の収束により、滞在型観光客の増加が期待されており、世界自然遺産の島をアピールし、観光客の集客に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	長寿と子宝のまち滞在型観光促進事業							
担当部課	きゅらまち観光課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	伊仙町		実施市町村名	伊仙町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10		
事業内容	コロナ収束後の観光客の増加を図るため、島外在住の方へ町公式サイトやSNS等で伊仙町をPRする。また、島内で宿泊し、かつ、町内観光地、観光施設、観光イベント等での体験についてのアンケートに回答した観光客に対し、町内で使用可能なクーポン券を発行し、更なる滞在促進を図る。さらに、アンケート結果を基に、町内で実現可能な滞在型観光ツアーの企画・開発を行う。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算		51,000				
		補正予算						
		前年度繰越		0	30,930	0	0	
		翌年度繰越		▲ 30,930				
		その他増減						
	計		-	20,070	30,930	-	-	
	執行額			20,070	30,025			
	執行率		-	100.0%	97.1%	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 【単位:人】		128,000人		130,000人		132,000人	
	実 績 【単位:人】			80,480人	90,807人			
	達成度				69.8%			
	達成状況 の評価		【R元年度】					
			【R2年度】 コロナ禍の中だったが、61%の達成率であった。					
			【R3年度】 引き続きコロナの影響を受けつつも、達成度70%の結果を出している。 本事業により、町のPRやクーポンの発行し、観光客の滞在促進を図ることができた。					
			【R4年度】					
			【R5年度】					
今後の取組方針	コロナが収束に向かいつつ、社会的にも人々の移動が許容され始めている状況にある。今後は世界自然遺産を核として歴史文化面においても魅力発信を強化し、観光客の受け入れ態勢を整え、受け入れ客の増加を図りたい。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	高付加価値オープンエア型プログラム創出事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	和泊町	実施市町村名	和泊町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	沖永良部島の自然や魅力を生かし、屋外での開放的なプログラム（オープンエア型プログラム）の造成と、それに伴う観光産業従事者の人材育成を進める。また、訴求力の高い動画制作やインターネットを通じたプロモーション及び旅費助成キャンペーンを実施する等、多角的な観光施策を実施することで、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだイメージと客足の回復を図るとともに、沖永良部島の自然、食、人のすばらしさを伝え、観光産業を発展させていく契機とする。さらに、来島者に対し、属性（性別、年代、発地、訪問回数、同行者等）や滞在の満足度や消費額、訪れたスポット等について継続的に収集し、分析・可視化できるシステムの導入を進めることにより、顧客ニーズに合わせた観光施策の展開を持続可能なものにしていく。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		36,000			
		前年度繰越		0	3,000	0	0
		翌年度繰越		▲ 3,000			
		その他増減		43			
		計	-	33,043	3,000	-	-
	執行額			33,043	1,580		
	執行率		-	100.0%	52.7%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	沖永良部島への入込客数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 【単位:人】	90,617人			100,000		105,000人
	実績 【単位:人】			51,936	55,773		
	達成度				55.8%		
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】 コロナ禍に対応したオープンエアな新規プログラムの作成、リアルタイム集計が可能な来訪者動向に関するモニタリングシステムの導入、デジタルマーケティングに基づいて制作・配信した動画の600万回超の再生など、着実な成果を得ている。一方、事業構想時は入り込み客数の増を目標値としていたが、新型コロナウイルスの影響が想定と比べ非常に深刻かつ広範囲であったため、現時点で達成は非常に困難であることが苦慮されており、むしろ令和元年度並に入り込み客数を短い期間で回復させられるかが重要であると考えられる。					
		【R3年度】 緊急事態宣言やまん延防止措置等の影響により、R2年度に予定していた旅費助成等の一部事業実施ができなかったため、R3年度に繰り越して実施した。作成した動画やデジタルマーケティングの結果、多くのテレビロケ等の誘致につながるとともに、アンケートモニタリングシステムのサンプルも多く取得することができ、観光振興の基盤構築の一助になったと考えられる。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	システムで集計したアンケート結果を観光協会や知名町と共有し、データ・数値に基づいた観光施策立案を講じていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	北山文化圏ロード構築事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	和泊町		実施市町村名	和泊町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	歴史的につながりのある北山文化圏(特に沖縄県今帰仁村)と、観光協会を交えた広域的な連携・交流を促進し、交流人口の拡大を図るための協議・検討及び地元デザイナー等を活用したプロモーション素材の制作を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	2,264		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	-	0	2,264	-	-
	執行額		0	0	18		
	執行率		-	-	0.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		沖縄県から和泊町への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				15,710		
	実 績 [単位:人]				11,643		
	達成度				74.1%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大の影響から昨年に比べても入込客数が減少したことで目標を下回った。また、予定していた沖縄向けのプロモーション活動についても新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施を見送った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2年連続して沖縄向けのプロモーション活動が中止となっているが、今後の動向を注視しながら実施を検討する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	与論町・国頭村連携 遺産ロード構築事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	ヨロン島観光協会を中心として、沖縄県北部地域と一体となった旅行商品の造成やプロモーションの実施、沖縄県北部の国頭村と連携して魅力を発信する広域観光イベントの開催等を行い、広域観光商品の取組を広く周知し、効果的かつ戦略的な誘客を図るとともに、沖縄本部港～与論～奄美各島という広域観光ルートの構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			2,510		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	-	-	2,510	-	-
	執行額				2,250		
	執行率		-	-	89.6%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標				①80,000人		①90,000人
	[単位:人]				②10,000人		②11,000人
	実 績				①42,694人		
	[単位:人]				②3,693人		
	達成度				①53%		
					②37%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 沖縄県国頭村との連携によるイベントやPR活動を当初予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等が中止となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	国頭村との連携によるイベント等のPR活動、広域観光ルートの構築による域外からの観光客の誘客を図るとともに、両町村の民間団体や住民等の交流促進を図ることにより、同地域からの来島者の増加につなげる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度～令和4年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美の冬場でも温暖な気候を生かし、官民一体となったスポーツ合宿誘致を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			10,000		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	-	-	10,000	-	-
	執行額		0	0	8,393		
	執行率		-	-	83.9%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美スポーツキャンプにおいて、来島・宿泊する延人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:人]				12,000		13,000
	実績 [単位:人]				9,524		
	達成度				79%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 キャンプが継続して実施されるよう、ニーズに対しきめ細やかに対応した。 また、国内主要大会へ出向き、来島チームの激励と合わせ、新たなキャンプ チームの誘客活動を実施した。さらに、業務委託により市受け入れ体制の再 構築に向け、全国のスポーツコミッションに対し、運営体制や抱える課題等 についてアンケート調査を実施した。本事業により、スポーツ合宿による誘客・ 交流人口拡大に向けた取組を推進することができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	これまで培ったチームとの関係をキャンプの継続実施に繋げるとともに、誘客拡大に向けた取 組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。 アンケート結果を参考に本市受け入れ体制の在り方について整備を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大のためのスポーツ施設整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度～令和4年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	「スポーツキャンプ誘客拡大事業」に合わせ、スポーツ施設を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	3,500		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	-	-	3,500	-	-
	執行額		0	0	2,750		
	執行率		-	-	78.6%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美スポーツキャンプにおいて、来島・宿泊する延人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				12,000		13,000
	実 績 [単位:人]				9,524		
	達成度				79%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 施設整備に向けた実施設計業務委託を実施。本事業により、スポーツ合宿に による誘客・交流人口拡大に向けて施設整備を推進することできた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	業務委託は令和3年度完了。 施設整備は令和4年度中に完成予定。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島型モデル I CT活用教育推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	離島や小規模校でのICTを活用した少人数指導の良さや手法を県下に発信するとともに、本県の地理的特徴から困難とされる児童生徒同士の学び会や多様な体験を通じた学習を支援することにより、コミュニケーション能力・コラボレーション能力など21世紀型スキルを養い伸ばす教育の充実、教職員の資質向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	4,137	28,000	3,500		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	4,137	28,000	3,500	—	—
	執行額		3,158	27,810	3,487		
	執行率		76.3%	99.3%	99.6%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①ICT活用校数 ②県との全国学力・学習状況調査における主要2科目(国語・算数)の平均通過率の平均比較				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①校②%]				①4校 ②100%		①6 ②102%
	実 績 [単位:①校②%]		①3校	①4校	①4校 ②133%		
	達成度				①100% ②133%		
	達成状況 の評価	【R元年度】 町内北部3小学校(母間、花徳、山)における遠隔授業の実施。教職員研修によるスキルアップ。					
		【R2年度】 町内北部4小学校(母間、花徳、山、手々)に遠隔授業用CT機器の更新・導入、及び地区指定4校合同遠隔授業の実施。教職員研修によるスキルアップ。					
		【R3年度】 町内北部4小学校(母間、花徳、山、手々)の地区指定4校合同遠隔授業の実施することにより、児童・生徒の学力維持・向上、教職員のスキルアップを図った。その結果、主要科目の平均比較では目標を大きく上回った。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	今後も地区指定校の合同遠隔授業を推進していくとともに、教職員のスキルアップを図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	I CTを活用した教育推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	ICTを活用したインターネット塾の開講により、保護者の経済的・時間的・身体的負担を軽減させ、定住促進を図るとともに、村の生徒の学習機会の条件不利性を解消させ、地域を支える人材の確保・育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算		5,000	7,700		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	—	5,000	7,700	—	—
	執行額			3,485	2,582		
	執行率		—	69.7%	33.5%	—	—
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		受講人数(累計)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]		13		35		53
	実 績 [単位:人]			14	6		
	達成度				17.1%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 前年度までは受験生である中学3年生のみを受講対象としていたが、基礎的学力の向上を図るため、R2年度より全学年を対象に開講したことにより、1,2年生の基礎学力の向上が図られるとともに勉強に向き合う「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは、今後の受講生本人の「人間力」の向上にも繋がることが期待出来る。				
			【R3年度】 引き続き全3学年を対象に開講したことにより、3年生の受験対策が図られた他、1,2年生の基礎学力の向上が早い段階で培われ、勉強に対する「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは、今後の生徒本人の「人間力」の向上にも繋がることが期待出来る。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナ禍の影響により、塾を閉鎖せざる得ない状況となり、当初計画していた授業カリキュラムを完了させることに苦慮したことから、その社会的影響に左右されることなく、授業が可能となる方策を受託事業者と協議し、対策を図ることとしたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい離島留学推進事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美市他6市町村		実施市町村名	奄美市外6町村			
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美群島における将来の産業の担い手確保等を図るため、本土等の児童生徒が奄美の自然や文化を肌で感じられるような奄美らしい離島留学の機会を創出するために必要な施策の実施を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	27,500	43,471	53,366		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	27,500	43,471	53,366	-	-
	執行額		24,786	39,338	46,685		
	執行率		90.1%	90.5%	87.5%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		留学生人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				40		50
	実 績 [単位:人]		68	74	68		
	達成度				170%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は68人であり、中間目標値を上回った。				
			【R2年度】 令和2年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は74人であり、昨年度に引き続き中間目標値を上回った。				
			【R3年度】 コロナ禍により、事業が実施できなかった自治体もあったが、中間目標値を上回る結果となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島加工品販路拡大支援実証事業						
担当部課			事業実施年度	令和2年度～令和5年度			
事業主体	奄美市他6市町村		実施市町村名	奄美市外6町村			
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美群島において、農林水産物を活用した加工品や伝統工芸品などの群島外への販路拡大に係る経費を補助するとともに、地域の特性を生かした商品の販路拡大に取り組む人材の育成を図る。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		13,374	14,259		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		15			
		計	-	13,389	14,259	-	-
	執行額			7,944	10,241		
	執行率		-	59.3%	71.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		補助申請件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:件】		0		20		32
	実 績 【単位:件】			21	26		
	達成度				130%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 事業の周知の遅れ等はあったものの令和2年度は21件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。				
			【R3年度】 令和3年度は26件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	周知を徹底し、申請及び助成件数増へとつなげ、積極的な事業者を引き続き支援することで、販路拡大の機会創出を図るとともに事業者の育成に繋げる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	本場奄美大島紬生産流通活性化事業						
担当部課		事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	本場奄美大島紬産地の生産状況と流通体制の現状を正確に把握した上で、今後の施策を盛り込んだ「第2期産地再生計画」を策定する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		0	6,200		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		0			
		計	-	-	6,200	-	-
	執行額			0	5,179		
	執行率		-	-	83.5%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		本場奄美大島紬協同組合による本場奄美大島紬検査反数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標					4,261	4,648
	【単位:反】						
	実 績				3,290		
	【単位:反】						
	達成度						
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 3,290反 (達成率参考)令和4年度目標4,261反に対する達成度は77%であった。 本事業により、翌年度以降に実施する各種施策の指針となる、「第2期本場 奄美大島紬産地再生計画」を策定することができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和3年度策定の「第2期産地再生計画」を基に、島内外での販路開拓事業を展開するとともに、認知度向上、需要喚起を図るためのPR事業も展開する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	海洋教育を中心とした問題解決型学習による人材育成事業						
担当部課		事業実施年度	令和3年度～令和4年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	与論町在住の中学生、高校生及び成人を対象に、島外研修を含む海洋教育プログラムによるPBL(Project Based Learning/問題解決型学習)の実施による人材育成を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		0	2,000		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越		0			
		その他増減					
		計	-	-	2,000	-	-
	執行額				2,000		
	執行率		-	-	100.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島チャレンジ事業への応募・提案件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:件】		0			3	3
	実 績 【単位:件】				4		
	達成度						
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】人材育成講座を実施し14名が受講。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーションちゅAWARD2022)では16名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続きPBLによる人材育成講座及びビジネスプランコンテストを実施するとともに、町内外の関係機関等と連携しながら起業・創業支援体制を構築し、人材育成・起業支援を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	スマートアイランド推進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑦イ. 防災対策の推進に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島の低炭素化に向けたエネルギー施策の推進及び奄美群島における災害時の電力供給安定化を図るため、再生可能エネルギー（小型風力）によるマイクログリッドを構築する実証実験を行う。また、低炭素モビリティの導入と充電設備の確保を図るため、電動モビリティの安定的な運用に蓄電池がどれだけ必要かを実測する実証実験を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		27,735	46,242		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	27,735	46,242	-	-
	執行額			25,929	45,507		
	執行率		-	93.5%	98.4%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①化石燃料由来の既存電源から再エネ由来の独自電源を使用する電力量の増加 ②化石燃料モビリティから再エネ由来の電動モビリティに切り替えた移動距離の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①kWh②km】		0	①5,000kWh ②5,000km	①10,000kWh ②10,000km		
	実 績 【単位:①kWh②km】			①1,255kWh ②0km	①4,581kWh ②156km		
	達成度				①45.8% ②1.6%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 モビリティに関しては今年度の事業概要に含まれておらず実証ができなかったため、次年度電動モビリティを導入した実証実験を行う。				
			【R3年度】 電動モビリティを導入し、観光客向けに貸出を行ったが、コロナ禍ということもありそもそも観光客の入込数が例年と比較し激減したため、目標としていた走行距離には満たなかった。しかしながら利用者を対象にしたアンケートにおいては前向きな意見が大半を占めていたため、今後の展望としては電動モビリティ等の利用拡大が期待される。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	電動モビリティの追加導入・充電スポットの拡充・利用対象者の拡大等を検討する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	防災関連施設整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美市他10市町村		実施市町村名	奄美市外10町村			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 イ.防災対策の推進に関する事業					交付率	5/10
事業内容	避難所機能(集会場や公民館等)の向上を目的とした整備や防災拠点施設等の整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	61,100	231,606	187,835		
		補正予算	457,900	795,098	615,086		
		前年度繰越	1,027,848	457,900	1,019,204	615,086	0
		翌年度繰越	▲ 457,900	▲ 1,019,204	▲ 615,086		
		その他増減	0	45,715			
		計	1,088,948	511,115	1,207,039	615,086	-
	執行額		1,077,669	492,609	994,429		
	執行率		99.0%	96.4%	82.4%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①防災行政無線の整備率 (R5年度目標はデジタル無線での整備率を加味した目標) ②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				①100% ②62か所		①83% ②41か所
	実績		①99% ②142か所	①100% ②93か所	①100% ②76か所		
	達成度				①100% ②122.6%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 着実に要修復箇所の整備が進められている。				
			【R3年度】 着実に要修復箇所の整備が進められている。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ネコ対策事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美大島5市町村 徳之島3町		実施市町村名	奄美大島5市町村 徳之島3町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業					交付率	5/10
事業内容	ノネコ対策と、その発生源対策を並行して実施することにより、アマミノクロウサギ等の希少野生動物の被害を防止し、独自の在来生態系の保全に資する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	65,472	68,235	68,041		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	1,350			
		計	65,472	69,585	68,041	-	-
	執行額		53,648	66,524	67,124		
	執行率		81.9%	95.6%	98.7%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ネコの不妊手術件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:件]				1,300		1,030
	実 績 [単位:件]		1,256	977	786		
	達成度				60%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度のネコの不妊手術件数は1,256件であった。				
			【R2年度】 令和2年度のネコの不妊手術件数は977件であった。				
			【R3年度】 令和3年度のネコの不妊手術件数は786件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美大島希少野生動植物保護事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美大島自然保護協議会		実施市町村名	奄美大島5市町村			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美大島内での盗採・盗掘を防ぐためのパトロールや外来種の駆除を行い、奄美大島の希少な自然環境を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	8,200	8,200	12,400		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	8,200	8,200	12,400	-	-
	執行額		8,200	8,200	12,400		
	執行率		100.0%	100.0%	100.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		パトロール1回あたりの希少種確認種数の積み上げ				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:種]				1,000		1,000
	実 績 [単位:種]		3,083	3,163	7,000		
	達成度				700%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。				
			【R2年度】 パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。				
			【R3年度】 令和3年度の希少動物確認種数の積み上げは7,000種と目標を大きく上回ることができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヤギ被害防除対策事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村		実施市町村名	奄美市, 大和村, 宇検村, 瀬戸内町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業					交付率	5/10
事業内容	ノヤギ駆除を行うことで、希少植物の食害や、それに伴う土砂災害、赤土流出による海洋汚染などを防止し、世界自然遺産候補地となっている奄美の自然生態系を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	9,446	10,189	10,233		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	9,446	10,189	10,233	-	-
	執行額		9,454	9,285	8,948		
	執行率		100.1%	91.1%	87.4%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ノヤギの捕獲頭数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:頭]				205		165
	実 績 [単位:頭]		265	255	251		
	達成度				122%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度のノヤギの捕獲頭数は265頭であった。				
			【R2年度】 令和2年度のノヤギの捕獲頭数は255頭であった。				
			【R3年度】 令和2年度のノヤギの捕獲頭数は251頭であった。 野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	サンゴ礁保全対策事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村, 奄美群島サンゴ礁保全対策協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	世界自然遺産登録に向けて、オニヒトデ駆除, モニタリング調査を行うとともに、サンゴの再生の手法について調査研究を行う。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	21,957	21,869	26,137		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	21,957	21,869	26,137	-	-
	執行額		21,643	21,580	25,597		
	執行率		98.6%	98.7%	97.9%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		モニタリング調査を継続実施した箇所において, ①サンゴ礁被度がH28(またはH28以降初めて調査した年(以下,「H28※」と表記。))と比較して5%以上, 上昇した箇所数 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上, 低下した箇所数 ③サンゴ礁被度が60%以上の箇所数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				H28※→R3 ①106箇所以上 ②27箇所以下 ③54箇所以上		H28※→R5 ①120箇所以上 ②11箇所以下 ③73箇所以上
	実績		①58箇所 ②15箇所 ③19箇所	①51箇所 ②10箇所 ③20箇所	①40箇所 ②17箇所 ③21箇所		
	達成度				①37.7% ②158.8% ③38.9%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度の実績はそれぞれ①58か所, ②15か所, ③19か所であった。				
			【R2年度】 令和2年度の実績はそれぞれ①51か所, ②10か所, ③20か所であった。				
			【R3年度】 令和3年度の実績はそれぞれ①40か所, ②17か所, ③21か所であった。 オニヒトデ等の駆除及びモニタリングを実施し、また、再生試験を実施することで、サンゴ礁の白化等の状況を把握することが出来た。目標に至らなかった要因としては、海水温の上昇, 赤土の流出等があげられる。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島水産物流通支援事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村		実施市町村名	奄美市外5町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 オ.林業及び水産業の振興に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	水産物の出荷団体が、奄美群島から沖縄本島まで出荷する際の輸送費の一部を補助することにより、奄美群島における水産業の振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	14,131	10,879	13,244		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	6			
	計		14,131	10,885	13,244	-	-
	執行額		9,619	8,673	7,705		
	執行率		68.1%	79.7%	58.2%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		水産物輸送量				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:トン]				616		643
	実 績 [単位:トン]		1,078	974	909		
	達成度				147%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】 令和元年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,078トンであり、中間目標値を上回った。				
			【R2年度】 令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は974トンであり、コロナ禍の影響により前年度よりは減少したものの中間目標値を上回った。				
			【R3年度】 令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は909トンであり、R2年度同様コロナ禍の影響により減少したものの中間目標値を上回った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島水産振興協議会、市町村		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	⑦オ. 林業及び水産業の振興に関する事業					交付率	5/10
事業内容	地域特産水産物であるシラヒゲウニ・ヤコウガイ等の資源回復や漁業生産の安定を図るため、種苗生産技術の導入、種苗生産体制の確立、藻場の回復を図るとともに、安定供給が可能となる養殖について検討を進める。また、漁港の製氷施設など漁業関連施設の整備等を行う。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	0	108,100	39,559		
		補正予算	4,840		45,000		
		前年度繰越	0	4,840	100,500	62,568	0
		翌年度繰越	▲ 4,840	▲ 100,500	▲ 62,568		
		その他増減	0				
		計	0	12,440	122,491	62,568	－
	執行額		0	8,521	129,892		
	執行率		－	68.5%	106.0%	－	－
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		海面漁業の生産額			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 〔単位:百万円〕				10,329		10,382	
実 績		7,635		8,471			
達成度				82.0%			
達成状況 の評価		【R元年度】 海面漁業の生産額1,202百万円＋クロマグロ養殖生産量6,433百万(固定)であり、カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約75%となった。					
		【R2年度】 新型コロナウイルス感染症拡大のため、業者打合せ等が難航したことにより、製氷機設備改修工事の実設計等の事業計画を翌年度に繰り越すこととなった。					
		【R3年度】 新型コロナウイルス感染症拡大による需要低下や海底火山由来と思われる軽石の大量漂着等による出漁自粛等の影響を受け、目標値の約82%となった。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	シラヒゲウニの放流と併せて、奄美大島での種苗生産実証試験を行い、地元での種苗生産、放流体制を確立するとともに、安定供給が可能な養殖について検討を進める。 ヤコウガイについては資源回復や漁業生産の安定を図る取り組みについて検討を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業						
担当部課		事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑦キ. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者等への利子補給金に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した事業者を対象に、3年間の利子補給を実施し、投資資金や運転資金の確保を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			30,003		
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	30,003	-	-
	執行額				7,570		
	執行率		-	-	25.2%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島における総生産額				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:百万円】						344,123
	実 績 【単位:百万円】		339,429				
	達成度						
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定				
			【R4年度】				
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している者に対し、利子補給の支援を実施することで産業の活性化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICT及びフリーランス等産業支援拠点施設整備事業						
担当部課			事業実施年度	令和2年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10
事業内容	本場奄美大島紬の後継者育成及び情報発信拠点としての生産性向上を図るため、空調設備の改修を図るとともに、同館2階部分に奄美市「フリーランスが最も働きやすい島化計画」の推進拠点となる「あまみ働き方ラボ」の整備(リノベーション)を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		109,826			
		補正予算					
		前年度繰越		0	69,855	0	0
		翌年度繰越		▲ 69,855			
		その他増減		1			
		計	-	39,972	69,855	-	-
	執行額			39,971	68,417		
	執行率		-	100.0%	97.9%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		フリーランス育成者のうち収入を得た人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:人】					100	110
	実 績 【単位:人】			89	92		
	達成度						
	達成状況 の 評 価		【R元年度】				
			【R2年度】 令和2年度のフリーランス支援において、8名の新たなフリーランスを創出した。				
			【R3年度】 令和3年度のフリーランス支援において、延べ57名を育成し、うち3名は新たなフリーランスとなった。 施設の更なる活用により、目標達成を目指す。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和3年度に施設運用が開始され、今後、施設運営手法をブラッシュアップすることにより、情報発信機能・支援体制の構築、ビジネスのマッチング、企業・人材・仕事の誘致、フリーランス発掘・育成にさらに取り組む。						